

# 天久保地区・桜地区における広告電柱立地と広告母体の近接性

加藤ゆかり(地球科学専攻 地誌学分野)

**I. 目的:** 本研究では、つくば市天久保地区と桜地区の広告電柱の立地状況を調査し、地区別、業種別に分けて分析を行い、広告母体との近接性やその特徴を明らかにする。※本要旨では地区別結果のみ掲載

**II. 対象地域:** つくば市天久保地区と桜地区。

ただし、大学構内は対象外とした。

**III. 研究方法:** 対象地域の広告電柱を携帯端末アプリ Map Plus を用いて記録した。本研究における広告電柱は、広告母体が東京電力に広告料金を支払い、設置されたものとする。そして、位置情報データを用いて ArcGIS 上で地図化した。広告母体は Google map を用いて緯度経度情報を調べ、同様に地図化を行った。(図 1・図 2) その後、ArcGIS のネットワーク分析(新規最寄り施設の検出)を用い、広告電柱と広告母体の距離を検出した。

## IV. 調査結果・考察

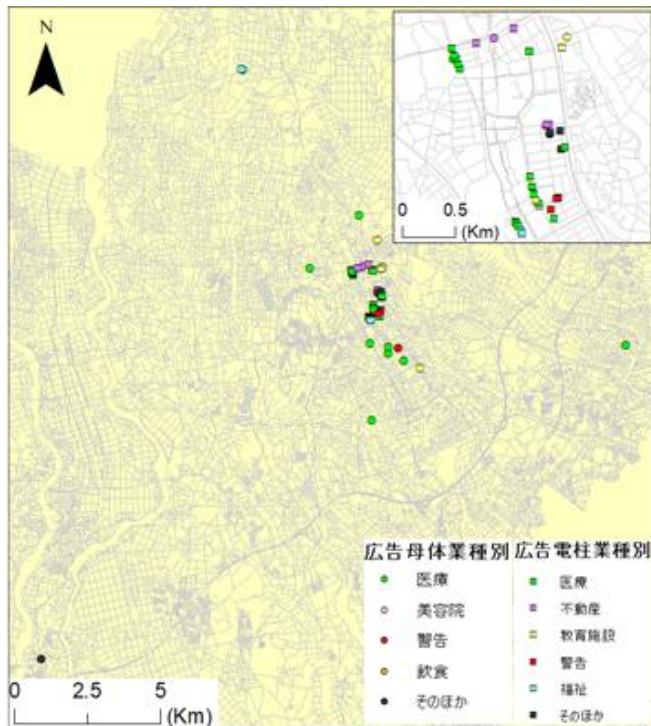


図1 天久保地区における広告電柱と広告母体の立地分布 (現地調査より筆者作成)

天久保地区 32 本・桜地区 21 本の広告電柱が存在し

た。天久保地区においては 1 丁目に集中しており、特に信号機付近に多く立地していた。(図 1)一方、桜地区は県道 128 号線沿いや住宅街に多く立地していた。(図 2)

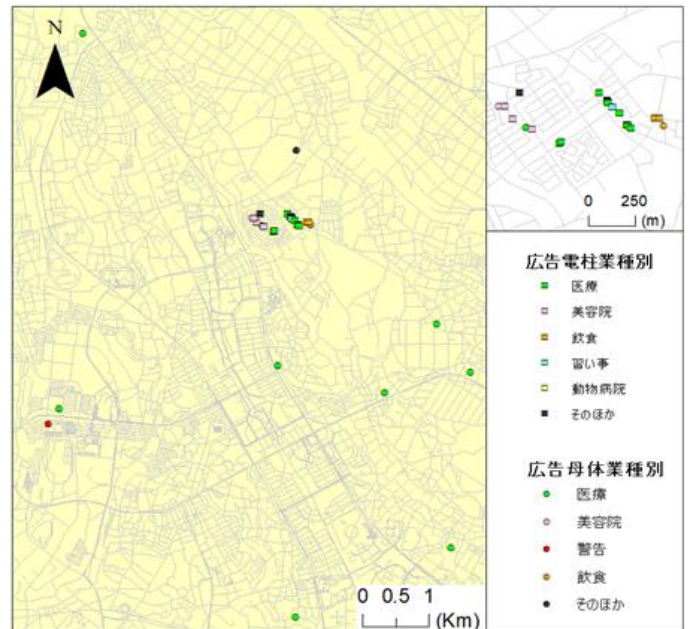


図2 桜地区における広告電柱と広告母体の立地分布 (現地調査より筆者作成)

広告母体の立地分布から、天久保地区は竹園地区や土浦市、守谷市が広告母体のもも存在していたが、店舗の目の前に広告を出すケースも多く存在していた。一方桜地区は大曾根地区・花室地区・金田地区からの広告が存在することが明らかとなった。(図 1.2)

またネットワーク分析より、天久保地区は広告母体と広告電柱の最短距離と最長距離に大きな差が見られたが、桜地区は差が小さかった。しかし、平均距離の分析から、桜地区から一定の距離がある場所からの広告が多いことが明らかとなった。(表 1)

表 1 広告母体と電柱広告の関係性

	最長距離	最短距離	平均距離
天久保地区	20390	4	2676
桜地区	7443	41	3400

※単位はいずれも m(メートル) (現地調査より作成)